

I 大学等におけるキャリア・コンサルタントの活動領域

大学等のキャリア教育の現場においてキャリア・コンサルタントの活動の場が増加している。大学等におけるキャリア・コンサルタントの活動領域としては、①正課外の個別相談の領域のほか、②正課外のインターンシップ・セミナー・ガイダンスの領域、③正課のキャリア教育科目（キャリア・デザイン等）の領域、④正課のその他の科目（法学概論等）の領域があるが、これら活動領域は、大学等のキャリア形成支援、就職支援等の力の入れ方等により異なる。

II 活動領域ごとにキャリア・コンサルタントが求められる能力

① 個別相談の領域	② インターンシップ・セミナー・ガイダンスの領域	③ キャリア教育科目の領域	④ その他の科目の領域
（知識面） - 求人情報・リファーマー先・各種ツールの使い方 - 企業の募集採用活動や学生の就職活動状況 - 大卒就職に係るルールや就職支援策 - 労働法制度 - 企業等での職業経験で得た「働くこと」 ※ このほか、具体的な職業情報・業界情報等	（知識面） - 個別企業情報・インターンシップ - 企業の募集採用活動や学生の就職活動状況 - 大卒就職に係るルールや就職支援策 - 労働法制度 - 企業等での職業経験で得た「働くこと」 ※このほか、具体的な職業情報・業界情報等	（知識面） - 当該大学の教育課程 - キャリア形成・就職に関するカリキュラム	（知識面） - 教育課程・カリキュラム - 当該授業の目的及び求めるレベル
（スキル面） - 個別相談 ・グループアプローチ - 問題のある者へのアプローチ ・面接指導 - 見立て、リファーマー ・情報収集・情報提供 - 企業へのアプローチ ・キャリアシート作成支援	（スキル面） - セミナー等の企画・運営 - セミナー等での説明 - ファシリテート、コーディネート	（スキル面） - 授業（インターンシップを含む）の企画・運営 - 授業（インターンシップを含む）の実施 - 教員への提案・助言	（スキル面） - 教員への提案・助言 - 教員と協力し、授業の企画に参画・運営
領域共通 （知識面） ・大学等組織運営の実態・教育現場 ・学生・若者文化 ・当該大学等の教育方針、学生の特徴等 ・学生の発達課題 ・大学のカリキュラム ・職業情報・業界情報 （スキル面） ・大学組織への働きかけ ・キャリア・コンサルタントが自らを評価する力 ・自ら学習する能力			

III 求められる能力を向上させるための方策

- ① 向上プログラムの実施
 大学等で活動するキャリア・コンサルタント等を対象に**モジュール式のプログラムを実施**するほか、教職員向けプログラムも実施。実施に当たっては、参加しやすいような通知の仕方、実施時期・地域・回数等を工夫するなどの**受講支援策**のほか、**継続的な実施**が必要。
- ② その他支援策の実施
 好事例の提供、情報交換の場等の提供、「キャリア・コンサルタント情報提供サイト」（H24年度～）の活用、各種ツールの提供等

IV 提言

大学等に対しては、キャリア・コンサルタントについての理解促進、キャリア・コンサルタントの意見を吸い上げる機会の創出、教学組織とキャリアセンターの連携推進、キャリアセンターの利用促進等を、キャリア・コンサルタントに対しては、継続学習の必要性和大学、学生等に対する情報発信、大学等の現場での役割発揮等を、行政に対しては、上記Ⅲで述べた方策の遂行等を提言。